



北伊予小6年
重松奈菜子さん

松前漬は、聞いたことはありましたが食べるのは初めてでした。昆布とスルメイカのだしが利いておいしかったです。スープが付いたやきそばなど、見たことがないものが食べられてうれしかったです。



岡田小6年
中内航生さん

松前漬が作れるキットは、違う町の特産品をどうやって作るのかを調べられたので楽しかったです。自分たちがお店で買うよりも、もらえたことがうれしくて、まつまえ町に行ってみたいという気持ちになりました。



松前小6年
玉井彩未さん

乳酸飲料が好きなので、ソフトカッゲンが1番うれしかったです。初めて食べた松前漬は、スルメイカがたくさん入っていておいしかったし、ご飯に合うなと思いました。機会があれば、まつまえ町に行ってみたいです。

まさき町

まつまえ町



お島小6年
藤村璃夢さん

「はだかむぎゆ」は、はだか麦やピーナッツが使われているということで、とても香ばしいお菓子でした。



小島小6年
星晴子さん

「みきゃんジュース」という名前に愛媛県を感じ、いいなと思いました。果汁100%ジュースですが苦くなく、甘くておいしかったです。



松城小6年
岩島由依さん

「ベジリコ」は、イリコと野菜が合わさっていることで栄養も取れるし、カラフルで子どもも楽しく食べられるのでいいなと思いました。

会えなくても、ぐっと身近に

8月25日、町内の小学校6年生にうれしいプレゼントが届きました。北海道まつまえ町から贈られたのは、郷土料理「松前漬け」をはじめ、まつまえ町ならではの特産品の数々。一方同日、まつまえ町の児童には、本町の特産はだか麦を使ったお菓子「はだかむぎゆ」などの詰め合わせが贈られました。

この特産品交換は、姉妹都市を結ぶ両町の交流事業の一環として行われたもの。例年は、小学校6年生がお互いの町を行き来して体験や観光を楽しんでいます。今年度はコロナ禍の影響で中止に。直接交流することは叶わなかったものの、遠く離れた町からの贈り物に、児童たちは長年に渡る友好の絆を感じていました。



特集 友好は空を越えて

本町と北海道の松前町は平成2年11月2日、姉妹都市提携を結び、人や物産の交流などで友好を深めています。

遠く離れた両町がつないだ30年の歴史を一緒に振り返ってみましょう。



memo 北海道の最南端に位置するまつまえ町とは、約1,500kmの距離がある。まさき町と漢字表記が同じ町、城下町として栄えた町という共通点から、姉妹都市となっている。



▲マッキー(まさき町)

1990 ←..... 2010

▼(平成4年10月号)まさき町の小中学生がまつまえ町を訪問し、友好を深める



▲(平成4年10月号)一緒に焼肉パーティー

◀(平成22年10月号)姉妹都市提携20周年を記念して、両町児童の交流事業がスタート。まつまえ桜の植樹、まつまえ城での甲冑・着物の着付け体験や海鮮バーベキューなどを楽しむ



協力的合い 交流を深めた
山本万由さん
協力的に交流を深めた山本万由さん。まつまえ町の子どもたちと一緒に、まつまえ町の歴史や文化について学びました。また、まつまえ町の子どもたちと一緒に、まつまえ町の歴史や文化について学びました。

四国から北海道へ
1500キロの距離を超えた友情
まつまえ町にやってよかった高市君乃さん
まつまえ町にやってよかった高市君乃さん。まつまえ町の歴史や文化について学びました。また、まつまえ町の子どもたちと一緒に、まつまえ町の歴史や文化について学びました。

大きく育った桜の木の下でお花見したい
大政航誠さん
大きく育った桜の木の下でお花見したい大政航誠さん。まつまえ町の歴史や文化について学びました。また、まつまえ町の子どもたちと一緒に、まつまえ町の歴史や文化について学びました。

まさき・まつまえ姉妹都市提携20周年記念友好交流事業
友好深めて20年 節目の年に
まつまえ町で貴重な体験



平成22年度 最初の交流事業に参加
こうせい 大政 航誠 さん =大間=
1番印象に残っているのは海鮮バーベキューです。どの食材も新鮮で、苦手なウニもおいしく食べられたことを覚えています。小学生のうちにこんな貴重な体験をさせてもらったことに、感謝しかありません。

Interview

10年経った今、行ってよかったと改めて思うので、来年の小学校6年生にもぜひ参加してほしいです。今でも「まつまえ町」と聞くと当時のことを思い出します。親近感がありますね。いつか、みんなで植えた桜の木を見に行きたいです。

令和2年	平成25年	平成22年	平成16年	平成12年	平成4年	平成3年	平成2年	平成元年
姉妹都市提携30周年	災害時相互応援協定締結	交流事業スタート	姉妹都市提携20周年	まつまえ桜植樹	まさき町の子もたちがまつまえ町へ	まつまえ桜植樹	姉妹都市提携 調印式	まさき文化祭でまつまえ町物産展を初開催

北海道松前町から友好の桜が届きました
松前町と姉妹都市交流を行っている北海道松前町から、「松前さくら」30本が届きました。松前公園、福德泉公園、町内小中学校に植樹しましたので、桜の咲く季節には是非ご覧になってみてください。

▲桜の植樹をする白石町長

まつまえ 松前桜を植栽
—中川原に30本の苗木—
4月5日(日)、中川原(清流園)で中川原地区役員などが、姉妹都市の松前町から贈られた松前桜の苗木30本を植栽しました。10年後にはお花見ができるでしょう。

▲(平成3年5月号)まつまえ町からまつまえ桜の苗木30本が届く。中川原に植樹



▲(平成16年5月号)今度は松前公園、福德泉公園や町内小中学校に植樹

▲(平成3年5月号)まつまえ町からまつまえ桜の苗木30本が届く。中川原に植樹

北海道 松前町と

姉妹都市提携までの経緯
昭和40年(1967年)日露友好年を契機として、松前町とまさき町との友好関係がスタートした。翌年、両町間の交流が本格化した。その後、両町の友好関係はますます発展し、1990年(平成2年)に姉妹都市提携が実現した。

姉妹都市を結びました

昭和42年(1969年)11月2日、文化センター広域学習ホールで姉妹都市提携調印式が行われる。調印式後、庁舎前に両町の町木であるマツを記念植樹

▲大漁くん(まつまえ町)



▲大漁くん(まつまえ町)

北海道松前町展 盛況

松前町を代表して芸術工芸作家が来町
松前町を代表して芸術工芸作家が来町。松前町の歴史や文化について学びました。また、松前町の子どもたちと一緒に、松前町の歴史や文化について学びました。

▲(平成元年12月号)友好交流を始めたまつまえ町から3人が来町。まさき文化祭でまつまえ町のPRと物産の即売会を行った

